

<マニュアル訂正連絡票>

FUJITSU Software

ASP PC ファイルサーバ説明書 V29

[J2K0-5910-01G2]

2021年3月30日発行

修正箇所(章節項): 5.3.2.3 サーバ環境の設定 図 5.8 サーバ環境の設定画面

以下の内容は、V29 (U21031 適用時以降) に限定される記事です。

旧記事

サーバの 状態	サーバ環境 の設定	共有の 設定	サービス の設定	ドメイン の設定	アカウント の管理
------------	--------------	-----------	-------------	-------------	--------------

サーバ環境の設定

設定ファイル名

設定しました。

アカウントファイル名	(必須)	<input type="text" value="/home/env/pfpassword"/>
IPアドレス/ネットマスク(ビット数)	(必須)	<input type="text" value="10.26.xxx.100/24"/>
ワークグループ	(必須)	<input type="text" value="WORKGROUP"/>
コンピュータ名	(※)	<input type="text" value="PFS"/>
サーバのコメント		<input type="text" value="PC FILE SERVER"/>
ログ出力ディレクトリ	(必須)	<input type="text" value="/home/pfslog"/>
最大ログファイルのサイズ	(必須)	<input type="text" value="512"/> Kbyte

※ ドメインに参加する場合、“コンピュータ名”は必須です。
半角英数字およびハイフン(-)の範囲で“コンピュータ名”を指定してください。

以下の“作成時のアクセス権”および“オプション”項目は、共有を作成する時の初期値となります。
共有ごとに設定値を変更したい場合は、「共有の設定」画面で設定してください。

作成時のアクセス権	読み込み	書き込み	実行
所有者	<input checked="" type="checkbox"/> r	<input checked="" type="checkbox"/> w	<input checked="" type="checkbox"/> x
グループ	<input checked="" type="checkbox"/> r	<input checked="" type="checkbox"/> w	<input checked="" type="checkbox"/> x
その他	<input checked="" type="checkbox"/> r	<input checked="" type="checkbox"/> w	<input checked="" type="checkbox"/> x

オプション

アーカイブ属性をサポートする
 システム属性をサポートする
 不可視属性をサポートする

以下の“許可されるホスト”および“許可されないホスト”項目は、「共有の設定」画面の同項目よりも優先的に判断されます。
「共有の設定」画面でアクセスを許可している場合でも、本項目でアクセスを許可していなければ、そのホストからはアクセスできません。本項目には「共有の設定」画面で指定するアクセス許可の範囲よりも広い範囲の許可を設定してください。

設定できる値は、“IPアドレス”、“ネットワークアドレス”です。
複数の値を指定する場合は、“,”(カンマ)、“;”(セミコロン)、“ ”(半角空白)、または改行で区切って指定してください。
なお、[設定]ボタンを押すと、区切り文字はすべてカンマに変換されます。

許可されるホスト	<input type="text"/>
許可されないホスト	<input type="text"/>

サーバの 状態	サーバ環境 の設定	共有の 設定	サービス の設定	ドメイン の設定	アカウント の管理
------------	--------------	-----------	-------------	-------------	--------------

サーバ環境の設定

設定ファイル名

設定しました。

アカウントファイル名 (必須)

IPアドレス/ネットマスク(ビット数) (必須)

ワークグループ (必須)

コンピュータ名 (*)

サーバのコメント

ログ出力ディレクトリ (必須)

最大ログファイルのサイズ (必須) Kbyte

パスワードの英大小文字を区別する
(Windows Vista以降は常に区別する)

共有外へのシンボリックリンク 許可 不許可(推奨)

※ドメインに参加する場合、“コンピュータ名”は必須です。
半角英数字およびハイフン(-)の範囲で“コンピュータ名”を指定してください。

以下の“作成時のアクセス権”および“オプション”項目は、共有を作成する時の初期値となります。
共有ごとに設定値を変更したい場合は、「共有の設定」画面で設定してください。

作成時のアクセス権

	読み込み	書き込み	実行
所有者	<input checked="" type="checkbox"/> r	<input checked="" type="checkbox"/> w	<input checked="" type="checkbox"/> x
グループ	<input checked="" type="checkbox"/> r	<input checked="" type="checkbox"/> w	<input checked="" type="checkbox"/> x
その他	<input checked="" type="checkbox"/> r	<input checked="" type="checkbox"/> w	<input checked="" type="checkbox"/> x

オプション

アーカイブ属性をサポートする

システム属性をサポートする

不可視属性をサポートする

以下の“許可されるホスト”および“許可されないホスト”項目は、PCファイサーバ全体のアクセス制限を設定します。
なお、本項目でアクセスが許可されていないホストからは、「共有の設定」画面でアクセスを許可してもアクセスできません。「共有の設定」画面で指定するアクセス許可の範囲より広い範囲の許可を本項目に設定してください。

許可されるホスト

許可されないホスト

修正箇所 (章節項) : 5.3.2.3 サーバ環境の設定 【項目の説明】

以下の内容は、V29 (U21031 適用時以降) に限定される記事です。

パスワードの英大小文字を区別する

Windowsからの認証時に、パスワードの大文字と小文字を区別するかを選択する。

Windows Vista以降のWindowsを使用する場合、本項目の指定に関係なく大文字と小文字が区別される。

選択できる値は以下の2つである。

はい： 大文字と小文字を区別する

いいえ： 大文字と小文字を区別しない

既定値は“はい”である。

本項目は、PCファイルサーバが停止した状態でのみ変更できる。

PCファイルサーバがドメインに参加している場合は、本項目に“いいえ”を選択していても、“はい”に変更され、本項目を変更することができなくなる。

ドメインから離脱すると、ドメイン参加前の設定値に戻る。

ユーザ名は WindowsのOSに関係なく、大文字と小文字を区別しない。

作成時のアクセス権

PCファイルサーバ上に、Windowsがファイルまたはディレクトリを作成する際のアクセス権を設定する。所有者、グループ、その他に対してそれぞれ、読み込み、書き込み、実行を設定することができる。

本項目は、「共有の設定」画面で新しく共有を作成する際に表示される同名の項目の初期値として使用される。

本項目の値を変更しても、作成済の共有の設定値には影響しない。

既定値では、すべての権限がチェックされている。

新記事

パスワードの英大小文字を区別する

Windowsからの認証時に、パスワードの大文字と小文字を区別するかを選択する。

Windows Vista以降のWindowsを使用する場合、本項目の指定に関係なく大文字と小文字が区別される。

選択できる値は以下の2つである。

はい： 大文字と小文字を区別する

いいえ： 大文字と小文字を区別しない

既定値は“はい”である。

本項目は、PCファイルサーバが停止した状態でのみ変更できる。

PCファイルサーバがドメインに参加している場合は、本項目に“いいえ”を選択していても、“はい”に変更され、本項目を変更することができなくなる。

ドメインから離脱すると、ドメイン参加前の設定値に戻る。

ユーザ名は WindowsのOSに関係なく、大文字と小文字を区別しない。

共有外へのシンボリックリンク

共有ディレクトリの範囲外にある資産を対象としたシンボリックリンクが存在する場合に、シンボリックリンクへのアクセス可否を設定する。

許可：

シンボリックリンクへのアクセスを許可する。

ただし、非公開の資産に対して、意図しないアクセスが行われる可能性があるため、推奨しない。

不許可 (推奨)：

シンボリックリンクへのアクセスを許可しない。

既定値として、“許可”が選択されている。

本項目は、PCファイルサーバが停止された状態でのみ変更できる。

作成時のアクセス権

PCファイルサーバ上に、Windowsがファイルまたはディレクトリを作成する際のアクセス権を設定する。所有者、グループ、その他に対してそれぞれ、読み込み、書き込み、実行を設定することができる。

本項目は、「共有の設定」画面で新しく共有を作成する際に表示される同名の項目の初期値として使用される。

本項目の値を変更しても、作成済の共有の設定値には影響しない。

既定値では、すべての権限がチェックされている。

修正箇所 (章節項) : 5.5.2 サーバ環境の設定画面

以下の内容は、V29 (U21031 適用時以降) に限定される記事です。

旧記事

設定に失敗しました。PC ファイルサーバ動作中は、以下の項目を変更できません。

- アカウントファイル名
- IP アドレス/ネットマスク (ビット数)
- ワークグループ
- コンピュータ名
- サーバのコメント

[原因] PC ファイルサーバが動作中に、変更できない設定項目を変更しようとした。

[対処] PC ファイルサーバを停止してから変更する。

新記事

設定に失敗しました。PC ファイルサーバ動作中は、以下の項目を変更できません。

- アカウントファイル名
- IP アドレス/ネットマスク (ビット数)
- ワークグループ
- コンピュータ名
- サーバのコメント
- 共有外へのシンボリックリンク

[原因] PC ファイルサーバが動作中に、変更できない設定項目を変更しようとした。

[対処] PC ファイルサーバを停止してから変更する。

2019年7月30日発行

修正箇所 (章節項) : 3.1.1.1 拡張多階層ライブラリとディレクトリの設定

旧記事

これらを格納するディレクトリは、同一でもよいが、運用性を考慮して、設定ファイルとアカウントファイルを格納するディレクトリと、ログファイルを格納するディレクトリに分け、拡張多階層ライブラリも別に作成することを推奨する。

拡張多階層ライブラリやディレクトリの詳細、および操作方法については、[『システムコマンド集』](#)、[『システム説明書』](#)、[『システム運用手引書』](#)を参照。

新記事

これらを格納するディレクトリは、同一でもよいが、運用性を考慮して、設定ファイルとアカウントファイルを格納するディレクトリと、ログファイルを格納するディレクトリに分け、拡張多階層ライブラリも別に作成することを推奨する。

また、設定ファイルとアカウントファイルを格納するための拡張多階層ライブラリは 5MB 以上の容量を確保する。

拡張多階層ライブラリやディレクトリの詳細, および操作方法については, [『システムコマンド集』](#), [『システム説明書』](#), [『システム運用手引書』](#)を参照.

修正箇所 (章節項) : 5.5.5.2 PC ファイルサーバがドメインに参加処理中, または離脱処理中の場合
の
『ドメインサーバに接続しました』の解説の後

旧記事

新記事追加

新記事

ドメインに登録できませんでした。

[原因]

ドメインサーバ側の登録処理は成功したが, PC ファイルサーバ側での登録処理に失敗した.

- ・ PC ファイルサーバの設定ファイルが格納されているディレクトリの容量が不足した. 設定ファイルの格納ディレクトリは, PC ファイルサーバ管理サービスの「サーバの状態」または「サーバ環境の設定」画面の“設定ファイル名”項目で指定したディレクトリとなる.

[対処]

以下の対処を行う.

1. ドメイン管理者に依頼して, ドメインサーバから PC ファイルサーバのコンピュータ名を削除する.
2. PC ファイルサーバの設定ファイルが格納されているディレクトリ配下の資源を, CPYTMBR コマンドを使用して一時的に別のディレクトリに退避する.
3. CRTTLIB コマンドで, 拡張多階層ライブラリを作成する. サイズは 5MB 以上を指定する.
4. PC ファイルサーバの設定ファイルを格納するディレクトリを, 3.で作成した拡張多階層ライブラリにマウントし直す.
5. 2.で退避した資源を, PC ファイルサーバの設定ファイルを格納するディレクトリに復元する.
6. ドメインへの参加を行う.

7. ドメインからの離脱を行う。

8. PC ファイルサーバ管理サービスの [サーバ環境の設定] 画面で, "ワークグループ"項目を設定する。

9. 再度ドメインへの参加を行う。

2017年12月26日発行

修正箇所 (章節項) : 5.3.2.3 サーバ環境の設定

旧記事

<< 略 >>

作成時のアクセス権

PC ファイルサーバ上に, Windows がファイルまたはディレクトリを作成する際のアクセス権を設定する。所有者, グループ, その他に対してそれぞれ, 読み込み, 書き込み, 実行を設定することができる。

本項目は, 「共有の設定」画面に表示される同名の項目の初期値として使用される。

既定値では, すべての権限がチェックされている。

オプション

「アーカイブ」属性, 「システム」属性, 「不可視」属性のサポートを, それぞれ設定する。

本項目は Windows のファイル属性と, 本システムのファイル権限との整合を行うためのものである。

本項目は, 「共有の設定」画面に表示される同名の項目の初期値として使用される。

<< 略 >>

許可されるホスト

<< 略 >>

本項目は, PC ファイルサーバ全体のアクセス制限を行う場合に設定する。共有ごとに制限したい場合は, 「共有の設定」画面の"許可されるホスト", "許可されないホスト"項目で設定する。

その場合, 本画面の"許可されるホスト", "許可されないホスト"項目で, アクセスを許可しておく必要がある。本画面でアクセスが禁止された Windows は, 「共有の設定」画面でアクセスを許可しても, アクセスできない。

許可されないホスト

<< 略 >>

本項目は、PC ファイルサーバ全体のアクセス制限を行う場合に設定する。共有ごとに制限したい場合は、「共有の設定」画面の"許可されるホスト", "許可されないホスト"項目で設定する。

その場合、本画面の"許可されるホスト", "許可されないホスト"項目で、アクセスを許可しておく必要がある。本項目でアクセスが禁止された Windows は、「共有の設定」画面でアクセスを許可しても、アクセスできない。

設定例を以下に示す。

新記事

<< 略 >>

作成時のアクセス権

PC ファイルサーバ上に、Windows がファイルまたはディレクトリを作成する際のアクセス権を設定する。所有者、グループ、その他に対してそれぞれ、読み込み、書き込み、実行を設定することができる。

本項目は、「共有の設定」画面で新しく共有を作成する際に表示される同名の項目の初期値として使用される。

本項目の値を変更しても、作成済の共有の設定値には影響しない。

既定値では、すべての権限がチェックされている。

オプション

「アーカイブ」属性、「システム」属性、「不可視」属性のサポートを、それぞれ設定する。

本項目は Windows のファイル属性と、本システムのファイル権限との整合を行うためのものである。

本項目は、「共有の設定」画面で新しく共有を作成する際に表示される同名の項目の初期値として使用される。

本項目の値を変更しても、作成済の共有の設定値には影響しない。

<< 略 >>

許可されるホスト

<< 略 >>

本項目は、PC ファイルサーバ全体のアクセス制限を行う場合に設定する。共有ごとに制限したい場合は、「共有の設定」画面の"許可されるホスト", "許可されないホスト"項目で設定する。

その場合、本画面の"許可されるホスト", "許可されないホスト"項目で、アクセスを許可しておく必要がある。本画面でアクセスが禁止された Windows は、「共有の設定」画面でアクセスを許可しても、アクセスできない。

本項目は、「共有の設定」画面で新しく共有を作成する際に表示される同名の項目の初期値として使用される。

本項目の値を変更しても、作成済の共有の設定値には影響しない。

許可されないホスト

<< 略 >>

本項目は、PC ファイルサーバ全体のアクセス制限を行う場合に設定する。共有ごとに制限したい場合は、「共有の設定」画面の"許可されるホスト", "許可されないホスト"項目で設定する。

その場合、本画面の"許可されるホスト", "許可されないホスト"項目で、アクセスを許可しておく必要がある。本項目でアクセスが禁止された Windows は、「共有の設定」画面でアクセスを許可しても、アクセスできない。

本項目は、「共有の設定」画面で新しく共有を作成する際に表示される同名の項目の初期値として使用される。

本項目の値を変更しても、作成済の共有の設定値には影響しない。

設定例を以下に示す。

2015年10月7日発行

修正箇所 (章節項): 2. 5 注意事項

旧記事

・ディスク容量不足の時の動作について

共有を作成した拡張多階層ライブラリの容量、または格納可能エンティティ数が不足している場合、以下の現象が発生する可能性がある。

- 共有にファイルを移動した際、容量不足のメッセージが表示されて移動できないが、共有内に、移動しようとしたファイルと同名で 0KB のファイルが作成される。
- ファイルを上書きコピーする際、コピーするファイルのサイズがコピー先のファイルサイズよりも大きい場合、容量不足のメッセージが表示されてコピーできないが、コピー先のファイルが削除される。

- 共有にファイルをコピー, または移動した際, Windows 側に「十分な空き領域がありません」がおおよそ 5 秒に 1 度程度の頻度で表示される. キャンセル操作を行うとメッセージは表示されなくなる.

新記事

・ディスク容量不足の時の動作について

共有を作成した拡張多階層ライブラリの容量, または格納可能エンティティ数が不足している場合, 以下の現象が発生する可能性がある.

- 共有にファイルを移動した際, 容量不足のメッセージが表示されて移動できないが, 共有内に, 移動しようとしたファイルと同名で 0KB のファイルが作成される.
- ファイルを上書きコピーする際, コピーするファイルのサイズがコピー先のファイルサイズよりも大きい場合, 容量不足のメッセージが表示されてコピーできないが, コピー先のファイルが削除される.
- 共有にファイルをコピー, または移動した際, Windows 側に「十分な空き領域がありません」が表示され, ASP 側にはおおよそ 5 秒に 1 度程度の頻度で「S5385 ライブラリの空き領域がなくなり資源が格納できない」が表示される.

Windows 側のメッセージに対してキャンセル操作を行うと, ASP 側のメッセージも表示されなくなる.

修正箇所 (章節項) : 3.1.3 ドメインサーバ側の環境構築

旧記事

ドメインサーバでの認証を行う場合は, ドメインサーバでドメインアカウント, および PC ファイルサーバがドメイン参加する際に使用するアカウントを設定しておく必要がある. PC ファイルサーバがドメイン参加するためのアカウントには, 管理者権限を設定しておく.

詳細は Windows のマニュアルを参照.

新記事

ドメインサーバでの認証を行う場合は、ドメインサーバでドメインアカウント、および PC ファイルサーバがドメイン参加する際に使用するアカウントを設定しておく必要がある。

PC ファイルサーバがドメイン参加するためのアカウントには、管理者権限を設定しておく。アカウントオプションは、以下の項目のみ設定できる。

- ・ユーザはパスワード変更をできない
- ・パスワードを無期限にする
- ・暗号化を元に戻せる状態でパスワードを保存する
- ・アカウントは重要なので委任できない
- ・このアカウントに Kerberos AES 128 ビット暗号化をサポートする
- ・このアカウントに Kerberos AES 256 ビット暗号化をサポートする

詳細は Windows のマニュアルを参照。

修正箇所 (章節項): 5.5.5 ドメインの設定 5.5.5.1 PC ファイルサーバがドメインに参加していない場合の最後

旧記事

新記事追加

新記事

内部エラーが発生しました。

PC ファイルサーバのログ情報を退避して、富士通技術員に連絡してください。

[原因]

プログラムの内部エラーが発生した。

[対処]

PC ファイルサーバのログ情報を採取して、富士通技術員に連絡する。

PC ファイルサーバのログは、「サーバ環境の設定」画面の「ログ出力ディレクトリ」項目で設定されたディレクトリ

配下に格納される。外部媒体または Windows にディレクトリ内容を全て退避する。

ドメインサーバへの接続に失敗しました。

アカウントは無効です

[原因]

指定したアカウントがドメインサーバ側で無効状態になっている。

[対処]

ドメインサーバ側でアカウントを有効にする。

ドメインサーバへの接続に失敗しました。

パスワードが正しくありません。

[原因]

指定したパスワードが正しくない。

[対処]

正しいパスワードを指定し, 再度処理を行う。

:
:
:

ドメインサーバへの接続に失敗しました。

パスワードの有効期限が切れています。

[原因]

指定したパスワードはドメインサーバ側で有効期限が切れている。

[対処]

ドメインサーバ側のポリシーに従って, パスワードの有効期限を延長する。

:
:
:

ドメインサーバに接続しました。

[原因]

ドメインサーバに接続した。

[対処]

なし。

新 記 事

ドメインサーバへの接続に失敗しました。

アカウントは無効です

[原因]

1. 指定したアカウントがドメインサーバ側で無効状態になっている。
2. 指定したアカウントの有効期限が切れている。

[対処]

1. ドメインサーバ側でアカウントを有効にする。
2. ドメインサーバ側のポリシーに従って、ドメインサーバ側でアカウントの有効期限を延長する。

ドメインサーバへの接続に失敗しました。

パスワードが正しくありません。

[原因]

1. 指定したパスワードが正しくない。
2. ドメインサーバ側のアカウントの設定で、アカウントオプションに「このアカウントに Kerberos DES 暗号化を使う」が指定されている。

[対処]

1. 正しいパスワードを指定し、再度処理を行う。
2. ドメインサーバ側のアカウントの設定で、「このアカウントに Kerberos DES 暗号化を使う」の指定を解除する。

：
：
：

ドメインサーバへの接続に失敗しました。

パスワードの有効期限が切れています。

[原因]

1. 指定したパスワードの有効期限が切れている。
2. ドメインサーバ側のアカウントの設定で、アカウントオプションに「ユーザは次回ログオン時にパスワード変更が必要」が指定されている。

[対処]

1. ドメインサーバ側のポリシーに従って、パスワードを変更する。
 2. ドメインサーバ側のアカウントの設定で、「ユーザは次回ログオン時にパスワード変更が必要」の指定を解除する。
- ：
- ：
- ：

ドメインサーバに接続しました。

[原因]

ドメインサーバに接続した。

[対処]

なし。

ドメインに登録できませんでした。

アカウントは無効です。

[原因]

ドメインサーバ側のアカウントの設定で、アカウントオプションに「Kerberos 事前認証を必要としない」が指定されている。

[対処]

ドメインサーバ側のアカウントの設定で、「Kerberos 事前認証を必要としない」の指定を解除する。

旧記事

ドメインサーバへの接続に失敗しました。

パスワードの有効期限が切れています。

[原因]

指定したパスワードはドメインサーバ側で有効期限が切れている。

[対処]

ドメインサーバ側のポリシーに従って, パスワードの有効期限を延長する。

新記事

ドメインサーバへの接続に失敗しました。

パスワードの有効期限が切れています。

[原因]

指定したパスワードはドメインサーバ側で有効期限が切れている。

[対処]

ドメインサーバ側のポリシーに従って, パスワードの有効期限を延長する。

ドメインサーバへの接続に失敗しました。

アクセスは拒否されました。

[原因]

ドメインサーバ側のアカウントの設定で, アカウントオプションに「対話型ログオンにはスマートカードが必要」が指定されている。

[対処]

ドメインサーバ側のアカウントの設定で, 「対話型ログオンにはスマートカードが必要」の指定を解除する。

旧記事

ドメインサーバへの接続に失敗しました。

パスワードの有効期限が切れています。

[原因]

指定したパスワードはドメインサーバ側で有効期限が切れている。

[対処]

ドメインサーバ側のポリシーに従って, パスワードの有効期限を延長する。

新記事

ドメインサーバへの接続に失敗しました。

パスワードの有効期限が切れています。

[原因]

指定したパスワードはドメインサーバ側で有効期限が切れている。

[対処]

ドメインサーバ側のポリシーに従って, パスワードの有効期限を延長する。

ドメインサーバへの接続に失敗しました。

PC ファイルサーバのログ情報を退避して、富士通技術員に連絡してください。

[原因]

プログラムの内部エラーが発生した。

[対処]

PC ファイルサーバのログ情報を採取して、富士通技術員に連絡する。

PC ファイルサーバのログは、「サーバ環境の設定」画面の「ログ出力ディレクトリ」項目で設定されたディレクトリ

配下に格納される。外部媒体または Windows にディレクトリ内容を全て退避する。

旧記事

ドメインサーバ側で異常が発生しました。

ドメインサーバに接続できません。

ドメイン管理者に連絡してください。

問題が解決されてから、「最新情報を表示」ボタンを押して、最新の状態を確認してください。

[原因]

1. ドメインサーバが停止した.
2. DNS サーバが停止した.

[対処]

1. ドメインサーバの状態を確認する.
2. DNS サーバの状態を確認する.

新記事

ドメインサーバ側で異常が発生しました。

ドメインサーバに接続できません。

ドメイン管理者に連絡してください。

問題が解決されてから、「最新情報を表示」ボタンを押して、最新の状態を確認してください。

[原因]

1. ドメインサーバが停止した.
2. DNS サーバが停止した.

[対処]

1. ドメインサーバの状態を確認する.
2. DNS サーバの状態を確認する.

ドメインサーバ側で異常が発生しました。

ドメイン管理者に連絡してください。

問題が解決されてから、「最新情報を表示」ボタンを押して、最新の状態を確認してください。

[原因]

ドメインサーバと PC ファイルサーバで、ドメイン参加の管理状態が一致しない。

ドメインサーバ側で PC ファイルサーバのコンピュータ名が削除され、再度手動で作成された可能性がある。

[対処]

ドメインサーバと PC ファイルサーバで、それぞれ以下の対処を行う。

ドメインサーバ：

PC ファイルサーバのコンピュータ名が登録されている場合は削除する。

PC ファイルサーバ：

PC ファイルサーバをドメインから離脱させ、再度参加させる。